

教育振興運動（教振）を基盤とした取組について

本県の「学校・家庭・地域の連携・協働」

- コミュニティ・スクールの導入・充実を促進し、「地域とともにある学校づくり」をめざす。
- 教育振興運動（教振）と地域学校協働活動を総合的かつ一体的に推進し、「学校を核とした地域づくり」をめざす。

令和6年度の教育振興運動に係るプラン

- (1) 岩手県「地域学校協働活動・教育振興運動」推進5か年プラン（令和2年度～令和6年度）

<全県共通課題>

- ① 「情報メディアとの上手な付き合い方」の取組
- ② コミュニティ・スクールとの連携による、「目指す子ども姿」の共有に基づく運動の展開

- (2) 教育振興運動推進プラン（2024～2028）

<全県共通課題>

- ① 家庭学習の充実
- ② 体験活動の充実

令和6年度第1回岩手県生涯学習審議会・社会教育委員会議 （令和6年7月18日）

教育振興運動推進プラン（2024～2028）における全県共通課題「家庭学習の充実」と「体験活動の充実」に向けての取組について、

- ・ 実効性を高めるための方策
 - ・ 全県的な取組とするための方策
- の視点から協議・委員からの御意見聴取

令和6年度第2回岩手県生涯学習審議会・社会教育委員会議 （令和7年1月24日）

今後の取組について、

更に効果的と思われる取組・手法などについて

協議・委員からの御意見聴取

教育振興運動推進プラン （2024～2028）



令和6年度第1回岩手県
生涯学習審議会・社会教
育委員会議

全県共通課題

各地域の教育課題、児童生徒の現状に鑑み、全県的な喫緊の教育課題解決に資するため、全県共通課題として掲げ、取組を推進します。

家庭学習の充実

「確かな学力」を支える学校以外の学習環境の充実



体験活動の充実

健やかな成長を支える多様な体験活動の経験



- ・実効性を高めるための方策
- ・全県的な取組とするための方策

の視点から協議

👉地域の大人が地域の子どもを育てる

第1回会議での協議内容と取組状況

家庭学習の充実①

協議内容・意見

- 現在の子ども、保護者は非常に忙しい。家庭学習について実態や声を聞き、実現可能な取組をすべき。
- 学校と市民センター、放課後児童クラブとの情報の共有が難しい。



- 小・中学校にはタブレットが配布されているため、家庭学習での活用方法も進めてもらいたい。
- 教員には授業と連動・関連した課題を提示することや、分かる授業ということを心がけてほしい。
- 学校のICT化、生活状況の変化をおさえながら家庭学習を考えていくことが必要。



県の取組

- 1 学校・家庭・地域連携協力推進事業（資料1 10ページ参照）
学校を核として地域住民等の参画や地域の特色を生かした事業を展開
→ 「地域と学校の連携・協働体制構築事業」「地域における家庭教育支援基盤構築事業」
- 2 いわて地域・学校連携促進事業（資料1 11～13ページ参照）
学校を取り巻く諸問題に地域全体で対応し教育効果を高めるため、学校が地域の人々と目標を共有し、一体となって子どもたちを育むコミュニティ・スクールを促進する等、地域・学校の連携強化を支援
→ 県内のコミュニティ・スクールの導入が加速

<確かな学力育成プロジェクト>

- 1 家庭学習の内容の充実と習慣化
→ 児童生徒の発達の段階を考慮した家庭学習の内容の充実と習慣化
- 2 確かな学力育成加速化事業
→ 学校での学習や家庭での自主学習支援の在り方やデジタルツールの効果的な活用

第1回会議での協議内容と取組状況

家庭学習の充実②

協議内容・意見

- 様々な社会教育施設について周知し、子ども達が学習するために気軽に行けるようにすることは大変いい方法である。
- 中学校では部活動の任意加入が進んでおり、放課後の居場所が小学生に比べて少ない中学生の受け皿は必要になってくるのでは。併せて、家庭学習に取り組めるような場の設定も必要になってくる。
- 教振は歴史があり、過去の様々な実践事例もたくさんある。大いに参考になるのではないか。
- 学習を支援するボランティアについては、団体の登録もできれば効果的ではないか。



県の取組

- 1 社会教育施設における学習スペース整備
 - ・ 県立青少年施設における学習環境の整備
 - 県南青少年の家へのWiFi整備（他施設へも順次整備予定）
 - ・ 「令和6年度社会教育基本調査」（県教育委員会調査）にて、各市町村の状況を把握
 - 公民館等の社会教育施設に学習スペースを設置している市町村の割合：67%（速報値）
- 2 実践区における先進事例・好事例の収集
 - ・ 「令和6年度教育振興運動推進状況調査」（県教育委員会調査）にて、各実践区の取組状況を把握
 - 各実践区における活動のうち、「学力向上」に関する活動をすすめる実践区の割合：46%※R6速報値（R4:42%、R5:41%）
 - 調査において、各市町村からの事例を収集中（令和7年1月までに収集→3月までに公表）
- 3 支援ボランティア登録の促進
 - 「生涯学習ボランティアセンター」の運営
 - 県内のボランティア登録者数：951人（R6.12月末現在）
 - 団体登録も可能とした

第1回会議での協議内容と取組状況

体験活動の充実①

協議内容・意見

- 海に行ったことがないという子どもが多く、それを含め、たくさんの体験活動をさせるというのは大切なことだと思う。
- コロナの影響で、体験的な行事や活動が制限されてきた。アフターコロナにふさわしい活動を再構築していくことが今求められている。
- 広い岩手には特色のある地域、伝統が多くある。伝統行事の継承も含めた体験活動を大切にしたい。
- 親の考え方や経済力、職などによって、その家庭でできる体験が違っていると感じる。親御さんに対して、子どもに体験をさせようという意識を持ってもらうことや、気軽に体験させることができると思ってもらえるような支援もほしい。
- 自然体験を中心としたものでは、県内の青少年の家や野外活動センター等の施設を活用するのが良い。ノウハウもあり、施設使用料も踏まえれば、平等に体験活動提供できる可能性がある。



県の取組

- 1 実践区における先進事例・好事例の収集
 - ・ 「令和6年度教育振興運動推進状況調査」（県教育委員会調査）にて、各実践区の取組状況を把握
 - 各実践区の活動のうち、体験等の活動をする実践区の割合
「自然体験」43% ※R6速報値（R4:40%、R5:41%）
「勤労体験」40% ※R6速報値（R4:32%、R5:34%）
「伝承活動」54% ※R6速報値（R4:39%、R5:41%）
 - 調査において、各市町村からの事例を収集中（令和7年1月までに収集→3月までに公表）
- 2 県立青少年の家・野外活動センターによる体験活動型の事業の展開（自然体験・交流体験、親子参加型事業等）
 - ・ 県南青少年の家
 - 水と緑のフレンドシップ（3泊4日）、自然ワンダークラブ（年間4回、1泊2日）、通学合宿（3泊4日）、かるがも親子体験教室（1泊2日）等
 - ・ 陸中海岸青少年の家
 - 海の子野外教室（3泊4日）、ワンダフルネイチャー（年間3回）、海釣り道場（1泊2日）、季節の味わい（食体験）、親子防災デイキャンプ等
 - ・ 県北青少年の家
 - サマーチャレンジキャンプ（4泊5日）、わんぱく広場（年間2回）、にこにこキャンプ（年間2回、1泊2日）、親子でチャレンジ（1泊2日）等
 - ・ 野外活動センター
 - ドラマチック海遊塾（3泊4日）、野活キッズ（年間2回、1泊2日）、通学合宿（3泊4日）、ファミリーキャンプin広田（年間2回、1泊2日）等

第1回会議での協議内容と取組状況

体験活動の充実②

協議内容・意見

- 開催している放課後子供教室では、中学生や高校生に対し、ボランティア活動への誘いをしている。
- ボランティア登録をだけでなく、登録後の活動参加へのコーディネートや、ボランティアに対する講座開催、意欲醸成も進めていくことができればよい。

県の取組

- 1 支援ボランティア登録の促進
「生涯学習ボランティアセンター」の運営
→ 県内のボランティア登録者数：951人（R6.12月末現在）
→ 団体登録も可能とした
- 2 ボランティア養成・育成事業の実施
 - ・ 各教育事務所
→ 読書ボランティア等研修会、地域学校協働活動推進員等研修会
 - ・ 生涯学習推進センター
→ 読書ボランティア研修会、地域学校協働活動推進員等研修会、放課後子ども総合プラン指導者合同研修会
 - ・ 県南青少年の家
→ アドバイザースタッフ養成講座（県南青少年の家）
 - ・ 陸中海岸青少年の家
→ アドバイザースタッフセミナー
 - ・ 県北青少年の家
→ ボランティア養成セミナー
 - ・ 野外活動センター
→ ボランティアスタッフ養成講座

そのほかの取組

教振標語コンテスト

企業との連携

ボランティアの登録と活用

プッシュ型の支援

教振標語コンテスト

応募総数 [募集期間：令和6年10月14日～12月15日]

- 小・中学生の部 561件 (小学生388件、中学生173件)
- 一般の部 116件
- 計 677件

審査結果



<小中学生の部>

☆ 最優秀賞

「実体験 興味のとびら 無限大」

◎ 優秀賞

「できたがうれしい できればじしん まなびのじかん」

○ 教ちゃん振ちゃん賞

「お母さんの丸 見れば見るほど がんばれる」

「可能性は無限大 家庭学習は夢への 貯金箱」

「楽しもう 学んで広がる 世界観」

「社会体験学習 地域を知って 大好きに」

「いそたいけん まてまてカニさん とどかない」

<一般の部>

☆ 最優秀賞

「『子供の笑顔』 繋げる力は『地域』の中に！」

◎ 優秀賞

「地域のカ 伸びる子の夢 みんなでささえる
あふれる笑顔」

○ 教ちゃん振ちゃん賞

「見て、聞いて、触って、感じて 新たな発見
親子で一緒に」

入賞作品は、教振に係る研修会、印刷物等に掲載

→「教振」「家庭学習の充実」「体験活動の充実」を周知

包括連携協定企業との連携による取組の展開（+登録ボランティアの活用）

協定企業が実施する多様な体験活動プログラムと各実践区の実践区とのマッチングを進める。また、内容や事例をリーフレットやホームページへも反映させるとともに、各企業と連携した周知を図る。

包括連携協定企業（教育振興運動との連携・協力を承認、連携方法を検討している企業）

住友生命	セブンイレブン	損保ジャパン	リコー	ソフトバンク
三井住友海上	ポーク	アース製薬	東京海上日動	日本生命
ヤマト運輸	明治安田生命	イオン	佐川急便	



登録ボランティア



実践区での取組において、県の登録ボランティア（個人、団体）と連動させることで、地域・企業・ボランティアの連携や持続・発展的な活動の展開や相互の課題解決につなげる。

ボランティアの登録と活用

生涯学習ボランティアセンター
運営（生涯学習推進センター）

※県内のボランティア登録者
→951人（R6.12月末現在）

○ボランティアの活用を促進
→企業とのマッチング
→団体登録を可能に

岩手県生涯学習
情報提供システム
まなびネットいわて



教振 60th
 生涯学習・体験活動の充実



あなたの**思い、趣味や資格**が、
岩手の子どもたちや**地域**のために役立ちます！

学力向上を課題として、教育振興運動が始まった1965年当時、「子どもたちに勉強机をお土産には本を。」を合言葉にした取組が行われた当時の記録映像より

あなたの**チカラ**を募集しています

☑ ボランティア ☑ 指導者

岩手県立生涯学習推進センターでは、県内における生涯学習分野のボランティア及び指導者等に関する情報収集・提供及びコーディネートを行っております。

- ① 推進センターへ問合せ
- ② 登録票に記入し返信
- ③ 登録完了
- ④ 要請を受けて派遣・活動



登録されると、「まなびネットいわて」に掲載されます。



岩手県生涯学習情報提供システム
まなびネットいわて

岩手県立生涯学習推進センター

〒025-0301 花巻市北湯口第2地割 82 番地 13
TEL 0198-27-4555 FAX 0198-27-4564
URL : <https://manabinet.pref.iwate.jp/>



岩手県生涯学習情報提供システム
「まなびネットいわて」



Education Promotion
Initiative since 1965

ボランティア・指導者の活用例

地区の活動で、花壇に花を植えるんだけど、たねや苗を植えるだけでなく、植物についての学習もしてみたいなあ。

マナビコール 0198-27-4563
「まなびネットいわて」からメールでの問い合わせもできます

子供会行事で花壇の整備活動の際に、花や植物、昆虫の学習をしてみたいのですが、講師や活動内容の参考を探しています。

おもしろそうですね！
それでは登録ボランティアの方で、活動に合いそうな方を探しますので、活動の日時や場所、参加される対象者や人数を教えてください。

○月○日○時～○時に、□□公民館で、小学生15人と保護者が参加予定です。

ありがとうございます。ご希望に沿うような講師や活動の内容を提案させていただきます。少々お時間を頂いて、後ほどこちらからご連絡を申し上げます。

※センターから登録ボランティアへ連絡し、対応の可否の確認を行います。

お待ちいたしました。○○○○さんという植物にも昆虫にも詳しい方がいらっしゃいます。連絡方法については…

マナビコールでは、登録ボランティアの他にも大学等の専門家や講演講師等の紹介も行っていますので、まずはご連絡ください。

メールでの問い合わせはコチラ

URL : <https://manabinet.pref.iwate.jp/index.php/manabee-call/>



マナビコール
生涯学習情報問合せ

岩手県立生涯学習推進センター

〒025-0301 花巻市北湯口第2地割 82 番地 13
TEL 0198-27-4555 FAX 0198-27-4564
URL : <https://manabinet.pref.iwate.jp/>

教振 60th Education Promotion
Initiative since 1965

全県共通課題に関連した出前講座及び訪問支援等の **プッシュ型の支援**

生涯学習推進センター・各教育事務所・各青少年活動施設の社会教育主事による「家庭学習の充実」と「体験活動の充実」に関連した講話や演習を今後行うことを想定。

- < 出前講座・訪問支援先 >
- ・ 市町村における教育振興運動集約大会
 - ・ 各学校における P T A 行事、家庭教育学級等
- < 対象 >
- 教振実践関係者、保護者、教職員、子ども

(参考) 現プラン全県共通課題に関わる「出前講座のニーズの状況」

出前講座名 (実施主体)	内 容	R4		R5		R6	
		回数 (回)	人数 (人)	回数 (回)	人数 (人)	回数 (回)	人数 (人)
情報メディア出前講座 (岩手県青少年活動交流センター)	メディアをめぐる青少年の現状への理解を深め、情報機器の正しく安全な利用を支援。	10	800	25	1,982	22 (9月末時点)	3,359 (9月末時点)
情報メディア講座 (生涯学習推進センター)	子ども達を取り巻く現状や課題を知り、「情報メディアとの上手な付き合い方」を学ぶ。	20	1,183	24	1,545	3 (7月末 時点)	110 (7月末 時点)
	合計	30	1,983	49	3,527	25	3,469